



地元代表協議会だより

子どもたちのより良い教育環境づくりのために

協議会の詳細
はこちら



1月29日(木)に第3回地元代表協議会が開催され、学校適正配置(案)「若松台小学校と若松小学校の統合を令和9年4月に若松小の場所で実施する」について協議が行われました。

【報告】保護者や地元の方々よりいただいた声を報告しました。

主な報告内容

- 若松台小学校保護者説明会の開催【1月15日、1月17日 のべ18世帯21名参加】
 - 若松台小学校未就学児保護者説明会の開催【1月15日、1月17日 のべ20世帯25名参加】
 - 若松台小学校 PTA による学校適正配置(案)に係る保護者アンケート
 - 若松台1丁目自治会による若松台小学校適正化に関する意向調査
- 各説明会では、「通学に係る不安(距離、暑さ、保護者の負担等)について」、「統合の時期について」、「小規模校の良さについて」等のご意見・ご質問が寄せられ、教育委員会の見解等もご説明しました。保護者アンケートでは、若松台小学校の家庭数のうち9割以上の回答があり、過半数以上の家庭が学校適正配置(案)に反対という結果が報告されました。その他、各団体からの報告の詳細につきましては、議事要旨(上記 QR コード)でご確認ください。

【協議の論点整理】

○第2回地元代表協議会を通して、①「学校適正配置(案)を選択する」、②「選択しない」の2つに協議の論点が集約されてきたことをうけ、①②それぞれの利点と課題について協議されました。

① 学校適正配置(案)を選択する

- 利点** ◇統合により全学年複数学級の適正規模校に
◇小規模校における課題が改善する可能性
- 課題** ◆通学距離の延伸
→対応：スクールバスなど特別な支援は困難
四街道市への区域外就学を検討
- ◆通学路の安全確保
→対応：開校前年度の安全点検実施
セーフティウォッチャーへの協力依頼
統合校安全指導員の配置
- ◆統合に伴う児童の心理的負担
→対応：児童の交流(開校前年度実施)

(例)クラス替えが可能となると・・・



学校適正配置(案)の利点

② 学校適正配置(案)を選択しない

- 利点** ◇通学距離が延びない
◇統合に伴う心理的負担が生じない
◇小規模校の利点を生かした教育活動の継続
- 課題** ◆小規模校の課題が顕著になる可能性
◆小規模校化に拍車がかかる可能性
→教育活動の工夫に限界が生じる懸念

★前回協議会において委員から提案された
分校(案)についても
事務局の見解をお示しました。
→分校とすることは考えていない
学校適正配置の目的である、
「より良い教育環境の整備」にも
「教育の質の向上」にもつながらない。

【協議に係る留意点】

○協議会の目的「子どもたちのより良い教育環境づくり」に沿った協議を行うこと。

○過去2回の協議会において「若松台地域の保護者の意向を大切にしたい」という意見が示されたこと。

上記2点を留意点として確認するとともに、以下の報告が共有されました。

保護者(未就学児保護者含む)説明会より

●統合に係る通学について

- ・1年生が若松台3丁目から通うことに不安
- ・夏の暑さの中での登下校は難しい
- ・自家用車での送迎がないと厳しい

●統合の時期について

- ・交流期間が短い
- ・令和9年度統合について、議論が不十分

●学校規模について

- ・小規模校の学校に通わせたい
- ・適正規模校のデメリットもあると感じる

若松台小 PTA アンケート結果より

学校適正配置(案)

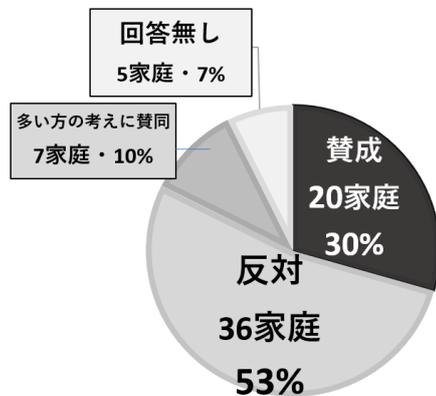
令和9年4月若松小学校の場所で

若松台小学校と

若松小学校の統合校を開校する

学校適正配置(案)について

- ・賛成・・・20家庭
- ・反対・・・36家庭
- ・本アンケート結果の多い方の考えに賛同・・・7家庭



【協議】

○協議の結果、「学校適正配置(案)を選択しない」という概ねの方向性が確認されました。

○分校(案)については、「要望をしない」ことに整理されました。

委員より(主な意見等)

●アンケートの結果、過半数以上が学校適正配置(案)に反対であった。若松台小保護者の意見としては反対となる。

●若松台小学校(未就学児保護者も含む)の気持ちを大切にしてほしい。

●少人数だと心配、適正規模校に行きたいという家庭については、学区外通学承認において、どちらの学校も選択できるようにしてほしい。

→(事務局)原則として学区の学校に通っていただくことになります。承認事由により変更が認められる場合があります。しかしながら、「小規模校に通わせたい」「適正規模校に通わせたい」といった理由は、承認事由として認められていません。

●学校というのは人間形成の場である。今後の子どもたちの将来のことを考えていくと、いずれ統合はすべきではないかと思う。子ども達の成長を一番に考えていくべきだと思う。

●学校は教育現場だけでなく、地域コミュニティの拠点でもある。統合した場合、校庭や体育館は使えるのか。地域は心配している。

→(事務局)跡施設については、統合の決定により学校が跡施設となることが決まり次第、地元のご意見をお伺いしながら活用方法を検討します。市内の学校跡施設の活用事例については、公共施設としての活用や売却等があります。

●統合やむなしと考えている。学校適正配置というのは少子高齢化が原因。若松地区に限ったことではない。

事務局より

「学校適正配置(案)を選択しない」という方向性について、各委員には、協議結果を持ち帰り、可能な範囲で各団体の意向を確認していただきます。第4回地元代表協議会(3/3)において結論が出されます。

千葉市教育委員会 教育総務部 企画課

担当：福田、石垣

電話：043-245-5908

メール：kikaku.EDG@city.chiba.lg.jp